

境界を**超**える ネットワークキング の可能性

令和の地域づくり
のヒントを探る

第33回 ことな情報交換室
第11回 地域福祉におけるソーシャルネットワーク研究会

ゲストスピーカー

『「知域」に1歩飛び出そう！ネットワーク活動でひろがる
公務員ライフ』（ぎょうせい刊、2021年）著者

後藤 好邦 氏

(山形市役所教育委員会社会教育青少年課 課長補佐)

「ひとが集まらない」「協力者が集まらない」など、人と人とのつながりに関する悩みは、協力関係でなりたつ市民活動にとって本質的な問題です。「つながりが大事」とは言いますが、実際にはなかなか思いが伝わらず、歯がゆい思いをすることも多いですね。

こうした問題を解くカギはどこにあるのでしょうか。

第30回ことな情報交換室は、私たちの日々の生活から仕事、そして市民活動に欠かせない「ネットワーク」のメリットやコツについて考えます。地域活動やビジネスなどでネットワークづくりに取り組む多くの皆さんにおすすめです。



2021年

10月9日 (土)

14時～15時50分 @zoom 参加費 500円

この講演会は「ごちそうみそ汁プロジェクト」をサポートしています。

手数料を除く参加費の全額が、子どもと大人の交わりをつくる活動に寄附されます。

 social network
for community development

 cotona
子どもとおとなの交流を、地域に



お申込み
はこちら



ゲストスピーカー 後藤 好邦 氏

山形市役所教育委員会社会教育青少年課 課長補佐。

1972年生まれ。1994年に山形市役所入庁。納税課、高齢福祉課、体育振興課冬季国体室、企画調整課、都市政策課、行革推進課、企画調整課を経て現職。

2009年6月に岩手県北上市の職員らと共に「東北まちづくりオフサイトミーティング※」を発足し、人・組織・地域・いろいろなものを繋ぎ、東北、そして日本を元気にするための活動を実践中。2015年4月からは、月刊ガバナンスにて「『後藤式』知域に飛び出す公務員ライフ」を連載中。著書に『自治体職員をどう生きるか』学陽書房（2019年）、『「知域」に1歩飛び出そう！ネットワーク活動でひろがる公務員ライフ』ぎょうせい（2021年）。

公務員以外の方にもオススメ。自分なりのコミュニティづくりの秘訣満載



自分が勤める山形市役所の先輩に当たる現役公務員が書いた本です。

SNSの発達により、様々な立場の人が発信する様になり、以前なら目立つことを避け「遅れず、休まず、働かず」と言われた公務員の中からも、民間企業も驚くような成果をあげる人も現れ、自らその考え方や成果を発信することで世間に広く知られるようになりました。いわゆるスーパー公務員です。

後藤氏もその一人だと考えて良いでしょう。山形市の職員として勤務しながら、仕事以外の時間を使って、たった3人から始めた東北の公務員の勉強会ネットワークを1000人以上がコミットするまちづくり団体に育て上げました。規模的に拡大するだけでなく、大震災で大きな被害を受けた東北の被災地とそれ以外の地域をつなぐ役割を果たし、2015年には早稲田大学マニフェスト研究会が主催する日本最大規模の政策コンテストで、マニフェスト大賞（市民の部）、最優秀復興支援・防災対策賞を受賞しています。（Nori氏 amazon レビューより抜粋）

※ 東北まちづくりオフサイトミーティング

東北管内で地域活性化に資する人財育成を目的に、2009年6月6日に発足。当初は30名程度の会員数だったが、現在は850名を超えるに至っている。活動内容は東北各地を会場に数ヶ月に1度の割合で実施している勉強会開催とSNSなどを活用した情報発信及び情報交換を行っている。震災以降は、被災地と被災地以外の地域や人財をつなぐ活動も実践している。



ファシリテーター 堀 崇樹

cotona執行理事・事務局長、地域福祉におけるソーシャルネットワーク（SNCD）世話人、日本大学文理学部非常勤講師、足立区社会福祉協議会地域包括支援センター関原 課長。

主催 cotona

埼玉県川口市を拠点に、親子だけにとどまらない“地域の大人”と“地域の子ども”の交流の機会づくりをテーマに、2016年3月に発足。こどもと大人の地域交流に関する情報交換の場「ことな情報交換室」を2021年4月までに計28回開催している。

2019年度からは、寄附金を設定したパーティを開催し、集まった寄附金で市産品（食材）を購入、子ども・子育ての活動（子どもと大人の交流の場）に届ける活動「ごちそうみそ汁プロジェクト」を行っている。



共催 地域福祉におけるソーシャルネットワーク（SNCD）

地域福祉における「つながり」づくりや「つなぎ」支援の基礎概念である「ネットワーク」について、実践と理論の両面から検討・情報交換を行うコミュニティ。2020年4月に活動を開始し、2021年4月までに計9回の研究会を開催している。

